

東京薬科大学新聞

サルバルサン号

只今新聞会員募集中

会長挨拶 矢内 光

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新聞会会長の矢内光です。

さて、皆さんはこの東京薬科大学にこれから四年間も、通うことになりました。夏は凶悪な蚊の襲撃に耐え忍び、冬は鼻水が凍る程の寒さに震えながら、来る日も来る日も

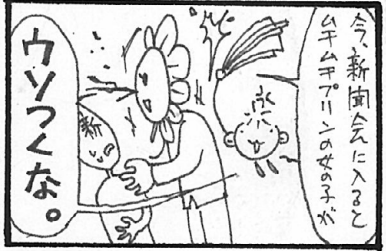
大学に通わねばなりません。

しかし、つらい大学生活が待っていると悲観する必要はありません。如何に自然環境が厳しくとも、すごし方次第では、充実した四年間を送ることが出来るはずですよ。

ただ、一概にすごし方といっても、大学の場合人はそれぞれ

それです。バイトに明け暮れて、金銭的な満足を得るのもよし、クラブやサークル、委員会などを通じて友達や先輩を多くつくるのも良いでしょう。また、学生の身分たる勉学にいそしむのも良いことです。何をやるにしても、決めるのは新入生の皆さんの意志

持った人の面倒を、職番にバラしてました



くまありません。

に任せられています。自分なりの道を見つけてるのが大学生活を楽しくする一つの方法だと思えます。

私の場合、新聞会という、険しい山道に分け入ってしまいました。新聞会とは、文字通り学内新聞である東京薬科大学新聞を作成している機関です。その過酷さは「新聞会から、生きて帰ってきた者はいない」と噂されるほどで、夜な夜な新聞会室からは、記事のメ切に追われる会員の呻き声が、闇に包まれた部屋棟に響きます。東薬大七不思議にも数えられている新聞会。この謎に挑戦しようという奇特な皆さん、是非新聞会に入ることをお勧めします。真実の新聞会をあなたの目で、耳で、舌で確かめて下さい。

どうですか？ここまで読んできたらあなたも、思わず新聞会室の重たい鉄扉を叩きたくなってきたでしょ。たとえそれが、険しい山道でも頂上からみえる景色は絶景です。完成した新聞を見れば、仕事の辛さなど忘れてしまいます。新聞会には皆さんの入会を心からお待ちしております。